

J-BAC 会員向けメールマガジン

～ 日本以外の飲酒運転・アルコールチェック事情 Vol.4～

業務委員会・海外班では、各メンバーが分担し、世界の各地域の飲酒運転やアルコール検知器に関連する情報をクリッピングし、会員のみなさまへお届けするメールマガジンを始めることにしました。お時間あるときに、気軽にご覧ください。

欧州担当 : 吉田委員 (SenseAir)
台湾・韓国担当 : 森田委員 (SEIKOIST)
中国担当 : 福田委員 (東京企画)
東南アジア・北米 : 杉本委員 (東海電子)

編集 : 業務委員会 海外班 杉本
2024.02.09

□WHO

2023年12月 WHO から、最新の世界交通事故レポートが発行されました。

この中で、

- ・交通災害死者のうち10%がアルコールが絡む。
- ・高所得国では、重大事故の飲酒関与率20%
- ・低所得国では、重大事故の飲酒関与率33%～69%と報告されている。

- ・飲酒運転に関する具体的な法律は166カ国によって報告されている。
- ・そのうち48カ国はWHOのベストプラクティスを満たしている。

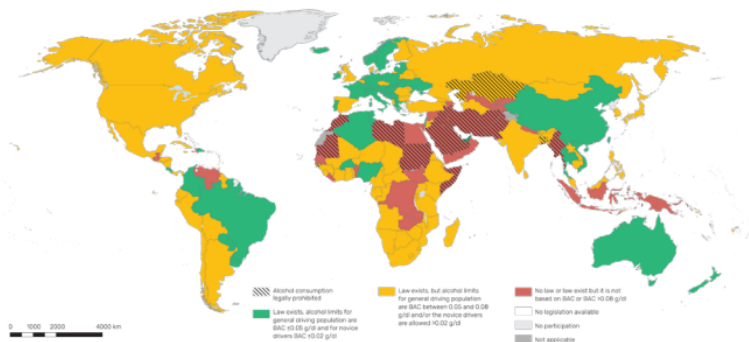
(一般運転人口に対して血中アルコール濃度(BAC)の限界を0.05g/dl以下、初心者ドライバーに対しては0.02g/dl以下と法律で規定していることをベストプラクティクスと称している)

- ・2018年の報告書以来、WHOのベストプラクティスを満たす国が3カ国増加した。



さ

Fig. 13. Status of drink driving laws in countries, 2022



<https://www.who.int/teams/social-determinants-of-health/safety-and-mobility/global-status-report-on-road-safety-2023>

□欧州

2024年1月19日(金)、道路安全局(RSA)、欧州運輸安全評議会(ETSC)、交通安全医療局(MBRS)は、アイルランドのユニバーシティ・カレッジ・ダブリンで「Safe and Sober Seminar」を開催しました。Safe and Sober セミナーの目的は、政策立案者、民間部門、主要なオピニオンリーダーの間で、道路交通におけるアルコールの乱用を減らすための体系的なアプローチの必要性についての認識を高めることです。セミナーでは、アイルランドの飲酒運転の状況に関する洞察と、EU加盟国のケーススタディが提供されました。



国内外のさまざまな機関からの講演者が、飲酒運転の問題と、アルコールインターロックプログラムにおけるアルコール障害の治療について話し合いました。このイベントでは、アルコールインターロック技術の実践的なデモンストレーションが行われました。

当日の発表は以下です。

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/agenda_safe-and-sober-seminar_19-january-24.pdf?sfvrsn=507db688_3

○アルコール中毒物質の謎を理解し、取り組む。プレゼン資料は以下

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/professor-cusack-mbrs_safe-and-sober-seminar-19-january-2024.pdf?sfvrsn=f9f053aa_3

Professor Denis A. Cusack, 交通安全医療局(MBRS)

○必須の酩酊剤検査チェックポイント。プレゼン資料は以下

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/inspector-ross-o'-doherty-ags.pdf?sfvrsn=aba6ad23_3

Ross O' Doherty 警部, An Garda Síochána

○飲酒運転に対する国民の態度 プレゼン資料は以下。

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/ms-velma-burns_road-safety-authority.pdf?sfvrsn=f78cec43_3

Ms. Velma Burns,道路安全局(RSA)

○アルコールインターロックプログラムにおけるアルコール障害のスクリーニングと治療
プレゼン資料は以下

Professor Desmond O'Neill, タラト病院

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/ms-velma-burns_road-safety-authority.pdf?sfvrsn=f78cec43_3

○欧州連合における飲酒運転 - 最新データと EU 法。プレゼン資料は以下。

Mr. Antonio Avenoso, 欧州運輸安全評議会(ETSC)

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/mr-antonio-avenoso-etsc.pdf?sfvrsn=bf14696c_3

(要約)

・2022年のEUでの交通事故死者数 20,678名、約25%がアルコール関連

・人口100万人当たりの交通事故死亡者数

・有効な対策はBAC許容量の低減、制裁と執行、アルコールインターロック、教育・キャンペーン

・後付けインターロック装置の自動車への装着を容易にするインターフェースの標準化

対象は2022年半ばの全ての新型承認車両および2024年半ばの時点ですべての新型車両

規格は欧州規格EN50436

・運転免許の法改正に対するEC提案

初心者ドライバーは少なくとも2年はBAC許容量0。

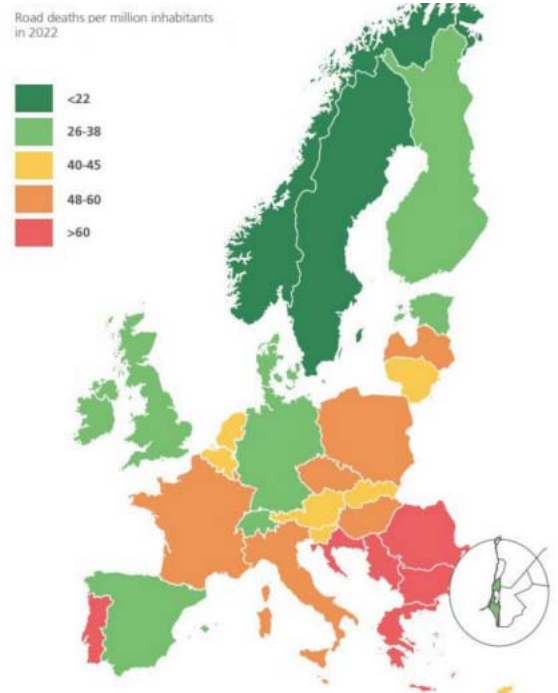
アルコール依存症のドライバーをアルコールインターロックプログラムに含める

・将来的な課題

再犯者や営業車へのアルコールインターロック設置の法制化

自動車へのアルコールインターロック設置の推進

アルコール依存症の人のアルコール連動リハビリテーションプログラムへの参加



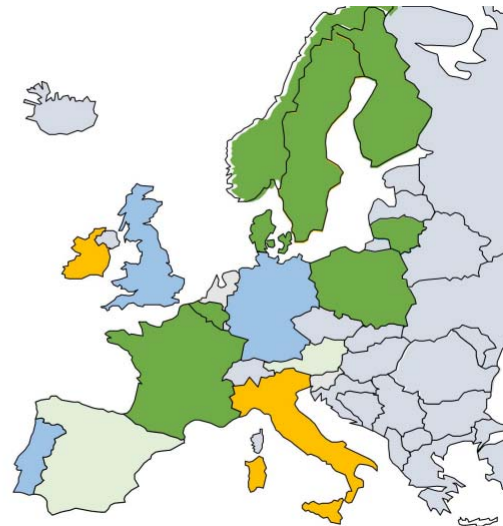
○欧州におけるアルコールインターロックプログラム。プレゼン資料は以下

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/ms-francesca-podda_etsc.pdf?sfvrsn=938ba3e8_3

Ms. Francesca Podda, 欧州運輸安全評議会(ETSC)

(要約)

- 任意ベース
- パイロットプロジェクト
- 議論中の法律
- 施行中の法律



○スウェーデン

- ・2012年に施行、運転禁止の代替措置
- ・BAC 0.2~0.9 g/l のドライバーに対する1年間のプログラム。
- ・再犯者およびBAC>1.0 g/l のドライバーに対する2年間のプログラム
- ・アルコールインターロック運転者数 3,000人 (2018年実績)

○オーストリア

- ・2017年に施行
- ・対象はBAC>1.2 g/l で初犯または4か月以上の運転禁止処分を受けた再犯者
- ・参加者 561名 (男性 88%) 平均参加期間 8か月。

○デンマーク

- ・2015年に施行
- ・BAC >2.0 g/l の再犯者が対象
- ・参加者は約450人 (2020年末)

○ポーランド

- ・2015年から施行、運転禁止の代替措置 (運転禁止期間の半分後に適用可能)
- ・対象はBAC>0.5 g/l のドライバー

○ベルギーのアルコールインターロックリハビリテーションプログラム。プレゼン資料は以下。

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/ms-anneliese-heeren_belgian-federal-public-service-.pdf?sfvrsn=fd0ae633_3

Ms. Anneliese Heeren, ベルギー交通省

○タクシー会社におけるアルコールインターロックプレゼン資料は以下。

Mr. Andreas Olofsson, CEO, Vilhelmina Taxi Sweden

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/mr.-andreas-olofsson_vilhelminataxiswedish.pdf?sfvrsn=c7f560ec_3

○アルコールインターロック プレゼン資料は以下。

https://www.rsa.ie/docs/default-source/road-safety/safe-and-sober-seminar/mr-sergey-krasaev_acs.pdf?sfvrsn=61613a71_3

Mr. Sergey Krasaev, Alcohol Countermeasure Systems (ACS)

□米国

○NHTSA のパブリックコメント

<https://www.govinfo.gov/content/pkg/FR-2024-01-05/pdf/2023-27665.pdf>

に関する報道文

<https://www.nhtsa.gov/press-releases/drive-sober-campaign-launch-winter-2023>

から一部抜粋

“米国国家道路交通安全局（NHTSA）は、新車における飲酒運転防止技術の標準化に向けて最初の一步を踏み出しました。今日発表される予備規則制定通知（ANPRM）は、超党派インフラ法における要件を満たすものであり、交通省の国家道路安全戦略を支援します。

飲酒運転による経済的および社会的コストは莫大です。NHTSA の推定によると、アルコールによる運転の死亡事故、傷害、および財産損害は、失われた賃金、生活の質の低下、医療費などで社会に 2800 億ドルのコストをもたらします。飲酒運転防止技術は、国家道路安全戦略で特定された行動の一つであり、運転者の安全を促進し、安全なシステムアプローチの原則に沿った車両機能を通じて、国の道路での死亡事故と重傷事故を大幅に減少させることを目指しています。

「この国で道路死亡事故の主な原因の一つが飲酒運転事故であることは悲劇です。あまりにも多くの命が失われています」と、交通省の副長官ポリ・トロッテンバーグは述べています。「今日発表される予備規則制定通知は、**新車に、飲酒運転防止技術の実装を義務付ける新しい安全基準**に向けた最初の一步です。今日に至るまでの NHTSA チーム、選出された役人、および提唱者の皆さんを称賛したいと思います。」

この ANPRM は、飲酒運転を検出する技術の現状、技術を安全かつ効果的に展開する方法についての情報を収集し、研究と技術が運転者の障害を防ぐ標準を開発するレベルに進むにつれて、さらなる機関の作業を促進するための他の情報を提供します。

超党派インフラ法は、新しい乗用車が「進歩的な飲酒運転防止技術」を備えることを要求する連邦自動車安全基準を確立する最終規則を NHTSA が発行するよう指示しています。この法律は、提案された基準が合理的で実行可能であり、交通事故およびそれに伴う死亡を減少させること、その他の要因を満たす場合にのみ、NHTSA が新しい規制を発行するべきだと述べています。

□韓国

韓国 2024.01.02 記事により

“常習飲酒運転者、10 月から飲酒運転防止装置付義務化… 新年変わる車制度 ”

今年(2024年10月)から、飲酒運転の常習者は、免許を取得する際に、飲酒運転防止装置を車に取り付けることが義務付けられます。また、環境保護のため、ディーゼル車は子どもの通学用車両や配送用車両として使用できません。オートマチックトランスミッションを搭載した小型トラック・バスの運転には第1種自動免許が導入され、既存の女性用駐車場をファミリー向け駐車場に転換する。



政府は下半期から常習飲酒運転者に対する制裁を強化する。飲酒運転で免許が取り消された人が免許を再取得してから5年以内に再び飲酒運転に摘発された後、免許は既存の一般運転免許ではなく「飲酒運転防止装置付条件付免許」を受けなければならない。飲酒運転防止装置は車に設置され、運転者が車に搭乗して装置に呼吸を入れた後に飲酒状態ではないと判明した場合にのみ始動がかかる。飲酒運転防止装置は、免許取消期間と同じように取り付けなければならない。もし3年の取り消し処分を受けたなら、免許の再取得後3年間、装置を取り付けなければならない。

常習飲酒運転者は、年2回の装置作動可否と運行記録を警察に確認されなければならない。この装置を設置していない車を運転すると、無免許運転に準ずる1年以下懲役または300万ウォン以下罰金処分を受ける。

□ベトナム

ナムディン省の村党委書記が飲酒運転、16歳少女2人死亡

<https://www.viet-jo.com/news/social/240202154153.html>

北部紅河デルタ地方ナムディン省ギアフォン郡ランドン町(thi tran Rang Dong, huyen Nghia Hung)で1月31日午後8時ごろ、電動自転車に乗って帰宅中の女子高生2人が、後ろから猛スピードで走ってきた乗用車にはねられて即死するという痛ましい事故が発生した。

死亡したのは、高校1年生のN・T・T・CさんとD・T・Tさんの2人。いずれも16歳で、同郡ギアラム村(xa Nghia Lam)に住んでいた。

電動自転車1台に同乗していた2人は、同郡ナムディエン村(xa Nam Dien)共産党委員会のマイ・バン・ナム書記(男・52歳)が運転していた乗用車と接触。強い衝撃を受けた2人は道端のガードレールに衝突し、その場で死亡した。

□タイ

“タイ運輸相、飲酒運転の厳罰化を支持 12~15年に”

<http://thai.news-agency.jp/articles/article/15049>

タイのスリヤ運輸相は27日、バンコク北部の北バスターミナルで、年末年始の交通安全キャンペー

ンイベントに出席し、飲酒運転の厳罰化を支持すると述べた。カオソッド・オンラインが報じた。

飲酒運転禁止財団（Don't Drive Drunk Foundation : DDD）は運輸省に対し、死亡事故を起こす飲酒運転の厳罰化を求めてきた。法案は同省が国家警察本部に提出し、検討を続ける。

DDD は、娯楽場の営業時間を深夜 4 時までまでに延長する政策について、経済の活性化につながることを評価する一方、飲酒運転の増加は避けられないと指摘。交通事故発生時のアルコール検査の実施や、検査を怠る警察官へ罰則、3～10 年の飲酒運転死亡事故の懲罰を 12～15 年に厳罰化すること、飲酒運転を容認した娯楽場経営者の責任を罰則化することを求めていた。

□カナダ

カナダの飲酒運転の年報が公表されている。

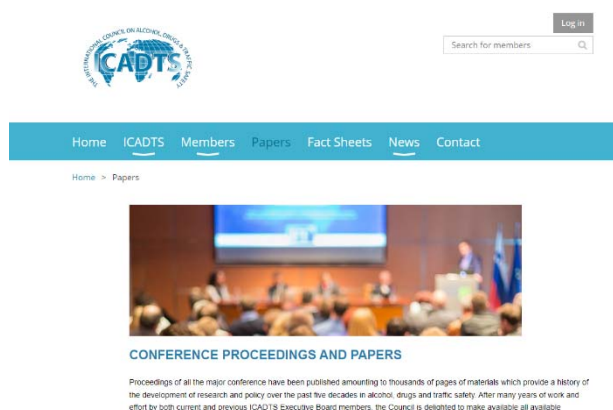
- ・ 2021 年、391 人の飲酒運転死亡は、3 9 1 人。
- ・ 死亡事故の 26.5%。
- ・ 回答者の 46.4%が飲酒を自宅で行っていた。
- ・ 飲酒運転者の 3 分の 1（36.7%）が単独飲酒
- ・ 22.9%がパートナーや家族と一緒に飲酒。
- ・ 女性は、男性に比べて飲酒運転率が 51.3%低い。

<https://tirf.ca/download-page/?dml-dp-dl=12908>



□ICADSTS Papers

ICADSTS ウェブサイトで、過去の学会の発表論文やプレゼン資料を入手できる。



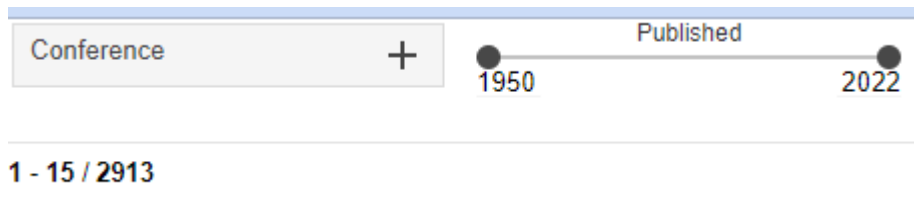
ICADSTS

<https://www.icadtsinternational.com/Conference-Proceedings-and-Papers>

ICADSTS papers

https://view-awesome-table.com/-/LmA6bE0Oevpcl_hypcR/view

飲酒運転・薬物運転に関わる膨大な論文集であり、なんと 1 9 5 0 年代から 2 0 2 2 年ロッテルダム大会まで、その数 2 9 1 3 本。



日本は、科警研の岡村氏によるペーパー（2017カナダエドモントン）が登録されている。
https://view-awesome-table.com/-LmA6bEEOevpcl_hypcR/view

以上